

SUPAIR

Japanese



RADICAL 4

取扱説明書

SUPAIR SAS
PARC ALTAÏS
34 RUE ADRASTÉE
74650 ANNECY CHAVANOD
FRANCE

RCS 387956790

Revision index : V2 25/02/2022



ラディカル4をお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以来フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、40年近くに渡る技術革新とフィードバックによる成果を手に入れることとなります。また私たちの哲学は：より良い製品を開発するためにたゆまず努力し、高い製造品質を保ち続けることです。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけであることを願っています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのホームページ(www.supair.com.)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

目次

はじめに	4
スペック	5
サイズチャート	6
構成部品	7
ハーネス外観図	10
アクセサリーのセットアップ	11
カラビナ	11
アクセルシステム	12
リバーシブルエアバッグモジュール	13
レスキューのセットアップ	15
レスキューコンテナの特徴	15
レスキューをインナーコンテナに収納する	16
ハーネスにブライダルを接続する	17
ブライダルをガイドスリーブに収納する	19
ブライダルとレスキューの接続	20
レスキューをコンテナに収納する	21
フロントレスキューのセットアップ	27
収納およびガジェット	28
ハーネスの調節	30
調節項目	30
ハーネスの調節	31
ライダーとハーネスの接続	32
フライト中の挙動	33
フライトの各段階	34
プレフライトチェック	34

テイクオフ	34
空中	35
アクセルの使用	35
ランディング	35
レスキューパラシュートを使う	36
トーイング	36
必須点検項目	36
保守	37
クリーニングおよびお手入れ	37
保管および運搬	37
耐用年数	37
修理	38
交換部品	38
素材	38
リサイクル	38
保証	39
免責事項	39
フライト装備	39
エアバッグプロテクションに関して	40
事故が起きたら	41
整備履歴	42

はじめに

スップエアー流パラグライディングー情熱を分かち合うーの世界へようこそ！

ラディカル4は山岳フライトに情熱を燃やすパイロット向けのハーネスです。デザイン並びに素材の選択は耐久性と品質を念頭に行われています。

ラディカル4は最大搭載重量を120DaN (120kg)としてEN1651:1999の認証を得ています。

ラディカル4+専用リバーシブルエアバッグはEN1651:1999およびLTF*91/09の認証を得ています。

* ラディカル4のLTF認証はエアバッグが装着されている場合にのみ有効です。

したがってヨーロッパおよびドイツの安全基準に適合していることとなります。

この取扱説明書を読んだ後、初めてフライトする前に必ず、シミュレーターにぶら下がりてハーネスのチェックを確実にしてください。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス



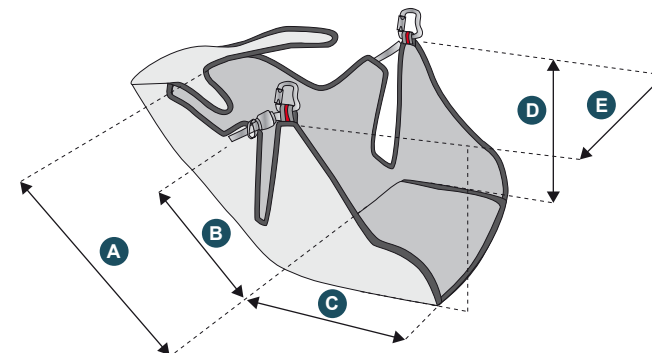
警告！



危険！！

スペック

- A 背もたれ高さ
- D カラビナ高さ
- B リクライニング調節高さ
- E カラビナ間距離
- C シート深さ



	ハーネスサイズ	S	M	L
	パイロット身長 (cm)	160-175	170-185	180-205
	パイロット体重 (最少-最大) (kg)	50-70 kg	65 -90 kg	70 - 120
	最大飛行重量 (カラビナおよびキャンピーを除く)	120 daN (約 120 Kg)	120 daN (約 120 Kg)	120 daN (約 120 Kg)
	ハーネス単体重量 (g)	910	920	970
	ハーネス重量 (エアバッグモジュール装着時) (g)	2160	2190	2260
	使用目的	パラグライディングのみ		
A	背もたれ高さ (cm)	62	65	70
B	リクライニング調節高さ (cm)	30	33	36
C	シート深さ (cm)	42	42	44
D	カラビナ高さ (cm)	45	45	47
E	カラビナ間距離 (cm)	33 - 44	33 - 44	34 -48
	衝撃吸収システム	エアバッグ (オプション)		
	認証 (ハーネス単体)	EN1651		
	認証 (エアバッグモジュール装着時)	EN1651 & LTF		
	タンデムフライト (パイロット-パッセンジャー)	No-No		
	トーイング	Yes		
	リリースカラビナ対応	No		
	アクロバットフライト	No		
	レスキューコンテナ容量 (エアバッグモジュール)	2,9 ~ 4,75 L		

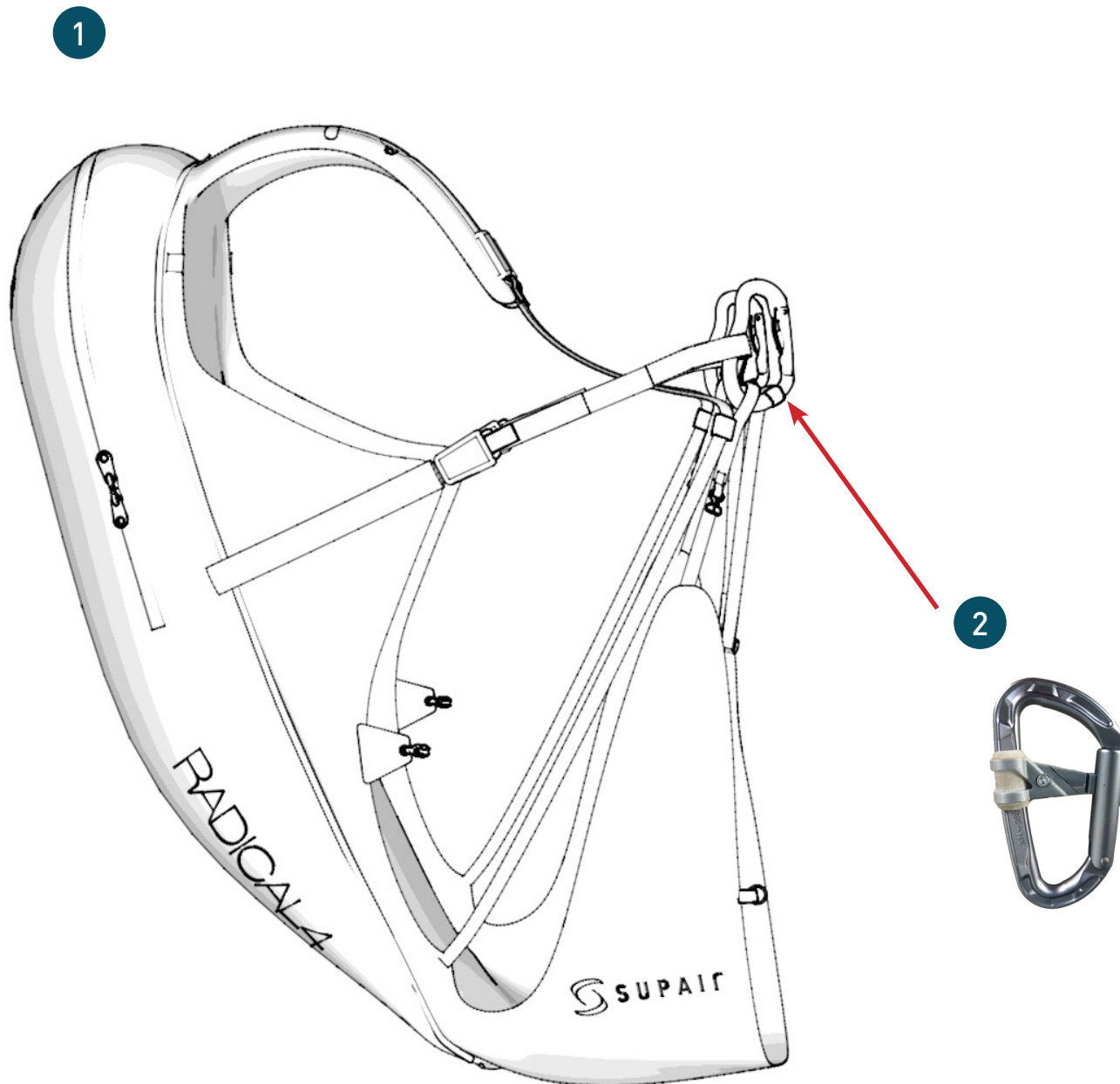
サイズチャート

ハーネスのサイズ選択は大変重要です。下にサイズを選択する際の目安となるチャートを用意しました。しかしながら最寄りの販売店で実際にシミュレーターにぶら下がり異なるサイズのハーネスを試し、正しいサイズを選択することを推奨します。

身長 体重	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05
50	S	S									
55	S	S	S								
60	S	S	S	S							
65	S	S	S	S	S ou M						
70		S	S	S ou M	M	M	M ou L				
75			S ou M	M	M	M	L				
80			M	M	M	M ou L	L				
85				M	M	L	L	L			
90					M ou L	L	L	L	L		
95						L	L	L	L	L	L
100						L	L	L	L	L	L
105							L	L	L	L	L
110								L	L	L	L
115									L	L	L
120										L	L

構成部品

- 1 ハーネス本体
- 2 エーデルリッド製ピュアスライダークラビナ x2



オプション

リバーシブルエアバッグモジュール
〔商品コード：PROSACAIRBAGR4S,
PROSACAIRBAGR4M,PROSACAIRBAGR4L〕

オリスフロントレスキューコンテナー(T1orT2)
〔商品コード：PPVCOLYST1, PPVCOLYST2〕

2段ライトアクセル
〔商品コード：ACCELSOUPLELIGHT〕

レスキューブライダル(ダイニーマ製ソロ用)
〔商品コード：ELESOLODYNEEMA〕

ピュアスライダーカラビナに関して

使用法及び安全性に関する一般的注意事項

この製品はパラグライダーと接続して使用されるように特別にデザインされています。カラビナ（コネクタ）は、高所からの落下に対する保護装置として使用してはなりません; また1人用としてのみ使用する必要があります。ここに書かれているすべてのドキュメントは、使用する前にユーザーが理解している必要があります。再販業者は、この製品が使用される国で話されている言語でこのドキュメントを提供する必要があり、耐用年数全体にわたって製品と一緒に保管する必要があります。

使用法に関する注意

以下に記述する使用法に関する注意事項を注意深く読み、遵守しなければなりません。この製品は、ユーザーが個人的に負担し対処するすべてのリスクを取り除くものではありません。あらゆる飛行するスポーツは潜在的に危険です。エラーや不注意は、重傷を負ったり、死に至ることさえあります。装具を正しく選択するには経験が必要です。装具の使用は、訓練を受けた経験豊富な人にものみ許可されています。それ以外のユーザーは監督される必要があります。ユーザーは、身体的または精神的な健康状態が不十分であると、通常使用時および緊急事態での安全性が損なわれる可能性があることに注意する必要があります。製造業者は、乱用または誤用に対するいかなる責任も負いません。このような場合、責任とリスクはユーザーまたは操作の責任者にあります。この製品を使用するときは、

適用される国内規則および規制をさらに遵守することをお勧めします。

カラビナは、ゲート上ではなく、本来の想定されている位置及び方向に対してのみ荷重をかける事が出来ます。使用中は、ゲートを閉じてロックする必要があります。毎回使用する前にその機能を確認してください。カラビナは、ゲートが閉じてロックされた状態でのみ使用する必要があります(xxx as screwed gates or xxx must always be closed completely; スクリューゲートは閉めすぎないように注意!)。カラビナへの外側からの圧力は安定性を大幅に低下させます。ゲートスリーブが破損し、ゲートが開く可能性があります。ゲートが開いていると最大引張強度は大幅に低下します。幅の広いテープを使用すると、カラビナの最大引張強度が低下する可能性があることに注意してください。

安全性に関する注意事項

この製品を他のコンポーネントと組み合わせると、これらは相互に安全性に影響を与える可能性があります。この製品をハーネス、パラグライダーライザー、レスキュー装備などの他のコンポーネントと組み合わせて使用する場合、ユーザーは、使用前にこれらのコンポーネントに関する同封の推奨事項、注意事項、および指示を理解し、それらに準拠する必要があります。製品の元のコンポーネントが変更または取り外された場合、安全性を損なう可能性があります。メーカーが書面で特に推奨していない方法で追加部品を使用して、装備を変更、改造、または調整しないでください。

警告! この製品に損傷を与えるようなものにさらしてはなりません。これには、極端な温度や火花同様特に、腐食性または侵略性の物質（酸、灰汁、はんだ付け用フラックス、オイル、洗浄剤など）との接触が含まれます。特に鋭いエッジ、湿気、および氷結は、製品の強度を大幅に損なう可能性があります!

使用中の気候条件

この製品の乾燥状態での連続使用できる温度範囲はおおよそ、-30°Cから+60°Cです。

耐用年数と交換

製品の耐用年数は、主に使用の種類と頻度、および外部要因に依存します。未使用の場合の最適な保管条件(後述の保管を参照)でのカラビナの最大耐用年数:無制限。

使用

カラビナの最大耐用年数は、次の表に基づいています。耐用年数に大きく影響するので飛行重量には十分注意する必要があります。この製品は、最大許容耐用年数に達した後、それ以上の使用を中止する必要があります。
飛行重量:120kg以下

MAILMOUSPURESLIDER + MPPP094 (エーデルリッド製 pure slider + Locking system)
飛行1000時間または最大5年

ピュアスライダーカラビナに関して

警告！

MAILMOUSPURESLIDER+MPPP094（エーデルリッド製 Pure Slider+ Locking system）カラビナの許容飛行重量は120kg以下です。

鋭いエッジ/バリなどが見えたり感じられたりした場合、またはゲートが自動的に閉じたりロックされなくなったりした場合、あるいは落下荷重（例えばレスキューパラシュートを投げた場合）がかかった場合は直ちにカラビナの使用を中止してください。

検査

使用する前に、製品に損傷の兆候がないか、また機能が適切に作動するかを必ず確認してください。上記の使用期間を超えた場合は、製品の使用を中止する必要があります。修理は、メーカーまたはメーカーの認可を受けた人のみが行うことができます。

保管

直射日光を避け乾燥した状態での連続保管温度はおよそ-10℃から+30℃。化学薬品（注意：バッテリー酸！）または腐食性物質との接触がないこと。

クリーニング

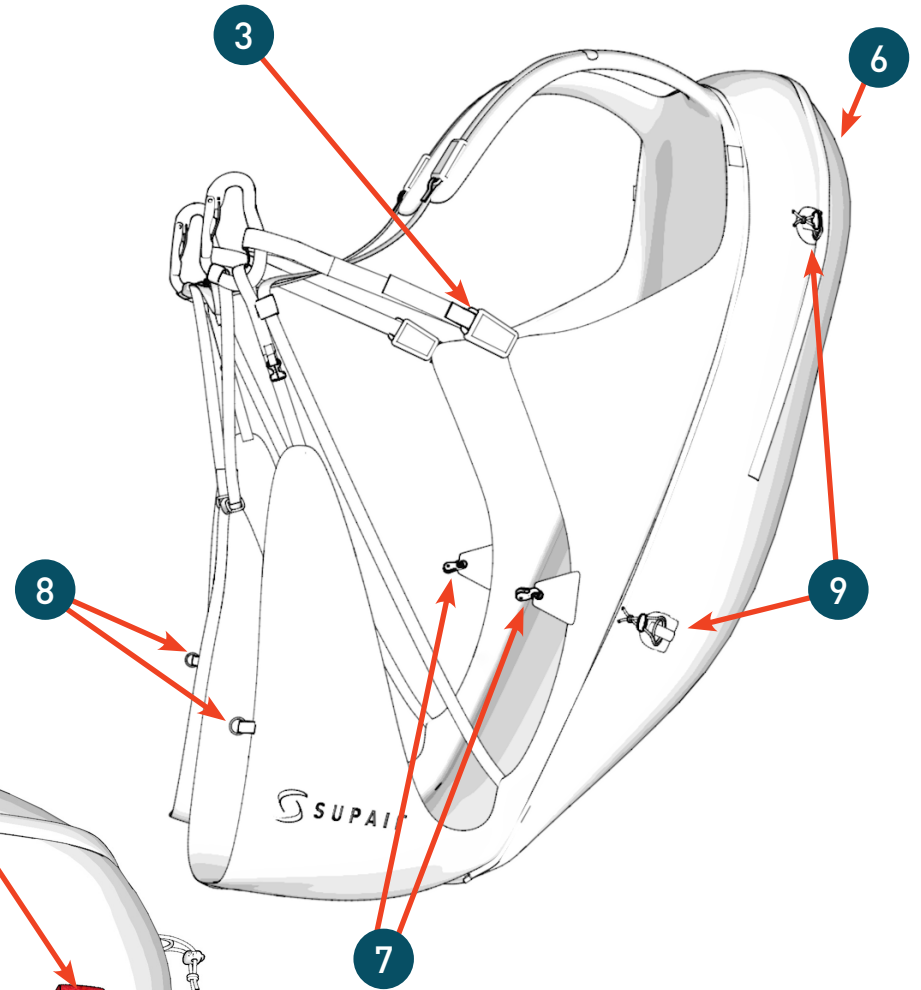
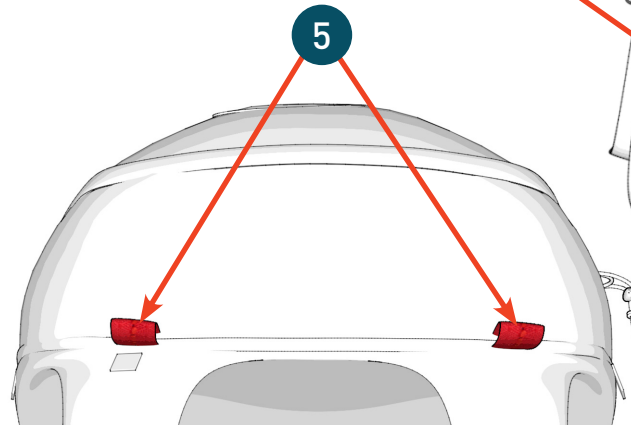
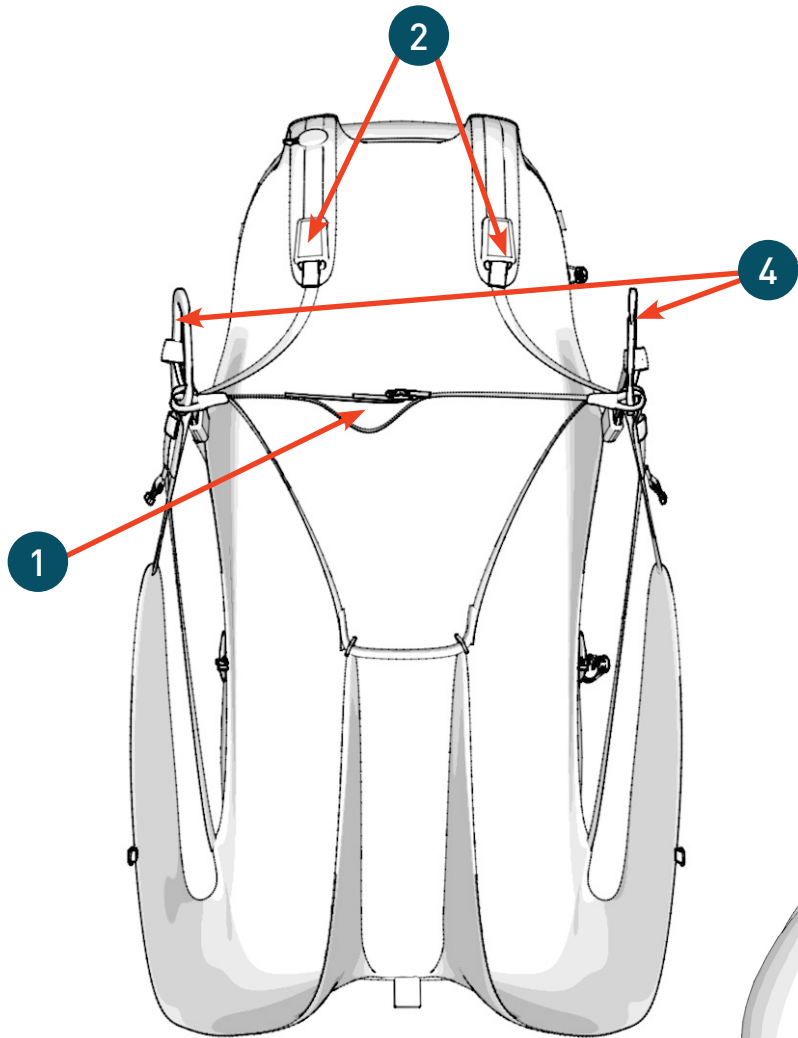
汚れた製品をぬるま湯できれいにします（必要に応じて、中性石鹸を追加して油やグリースを取り除きます）。十分にすすいでください。必要に応じて、一般的な非ハロゲン含有消毒剤を使

用できます。金属部品の接合部は定期的に清掃してから、酸を含まないオイルまたはテフロンまたはシリコンをベースにした潤滑剤で潤滑する必要があります。

警告:この使用説明書に従わない場合、致命的な傷害につながる可能性があります！

カラビナのマーキング
エーデルリッドの登録商標
製造番号および製造年月（YYYY MM）

ハーネス外觀図



- ① チェストベルト
- ② 肩ベルト調節
- ③ リクライニング角度調節

- ④ メインハングポイント
- ⑤ レスキューブライダル接続ポイント
- ⑥ 背部収納ポケット

- ⑦ アクセルロープ用プーリー
- ⑧ アクセルロープ用リング
- ⑨ ポールホルダー

カラビナ

対応するカラビナ:

エーデルリッド製ピュアスライダーカラビナ

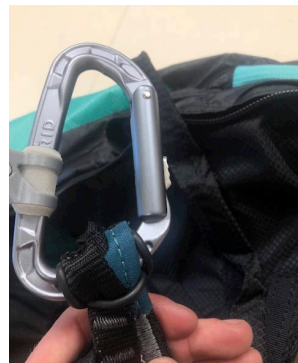
商品コード: MAILMOUSPURESLIDER

エーデルリッド製ピュアスライダーカラビナ+プラスチック製ロッククリップ

商品コード: MAILMOUSPURESLIDER + MPPP094

ピュアスライダーカラビナ+Oリングによる接続

カラビナにリクライニング角度調節ベルトとメインベルトを挿入します。その際、Oリングで両方のベルトをしっかりとカラビナに固定します。反対側も同様にしてください。



ピュアスライダーカラビナ+ロッククリップによる接続

カラビナにリクライニング角度調節ベルトとメインベルトを挿入します。カラビナのゲートを閉め、プラスチック製のロッククリップを回してゲートをロックします。反対側も同様にします。エアバッグモジュールを装備する場合は、モジュールのサイドフラップのテープをリクライニング角度調節ベルトとメインベルトの間に取り付けます。



エアバッグモジュール無し



エアバッグモジュール有り
SUPAIR | RADICAL 4 | page 11

アクセルシステム

対応するアクセル:

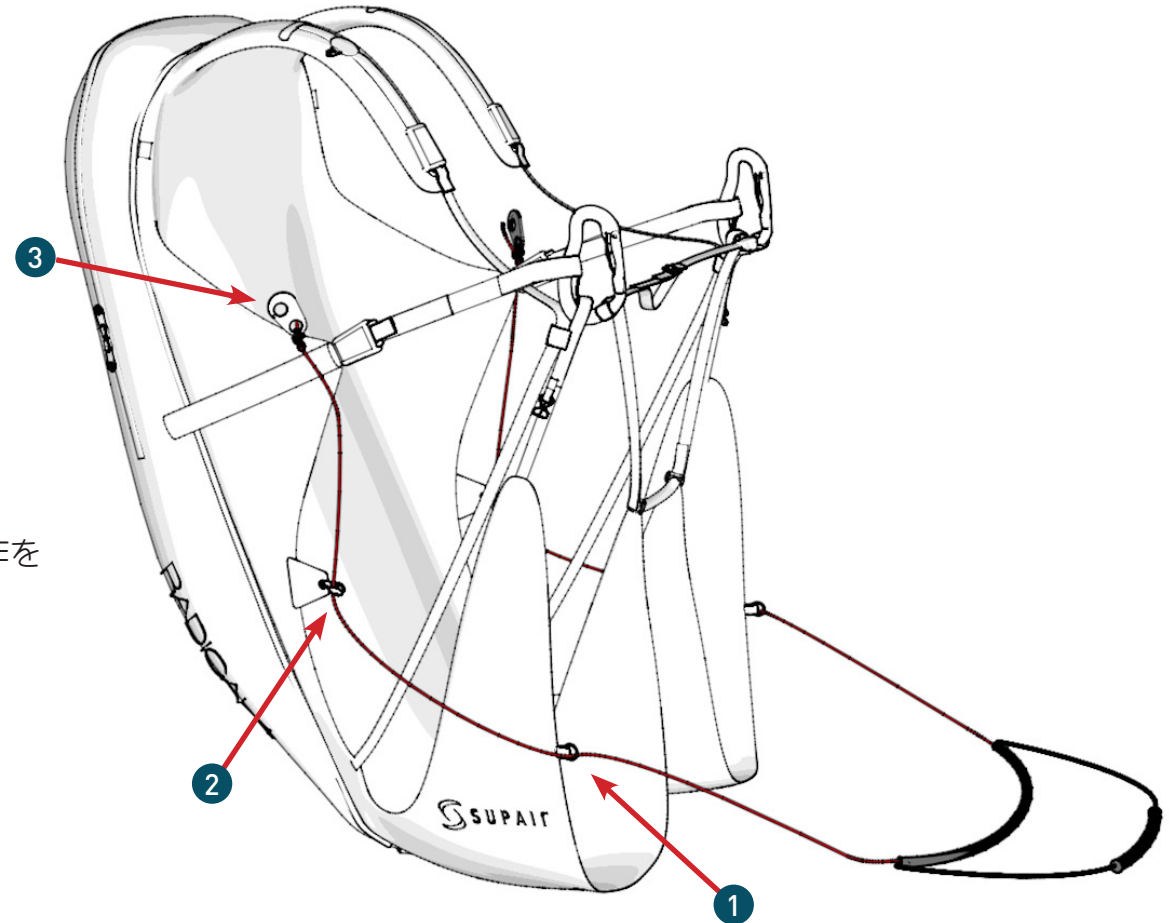
2段ライトアクセル

商品コード:ACCELSOUPLELIGHT

アクセルの接続:

ハーネスの両サイドにおいて

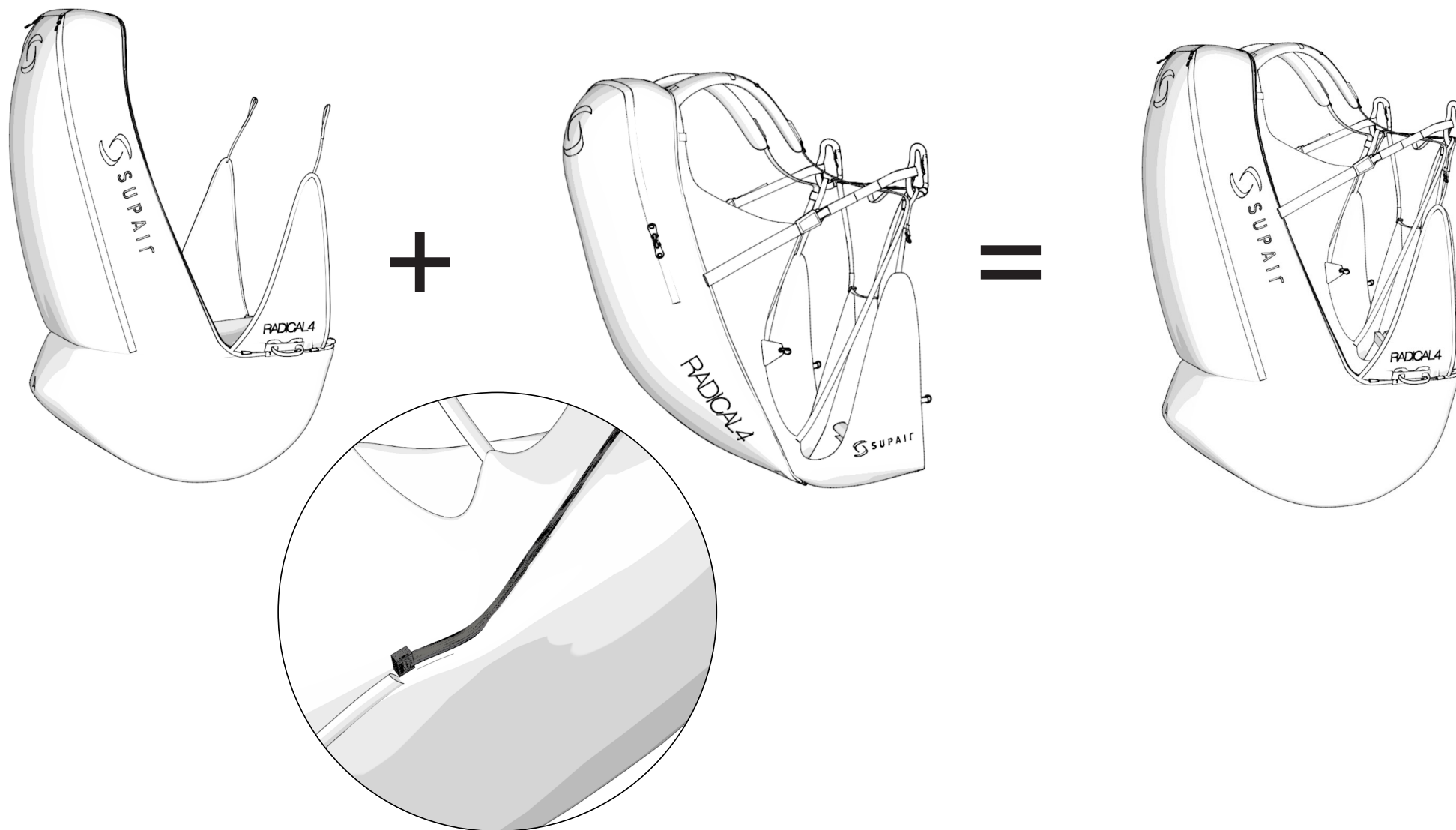
- ① アクセルロープをアクセルロープリングに通す。
- ② アクセルロープをプーリーに通す。
- ③ アクセルロープに接続用金具(ブルンメルフック)を接続する。
- ④ アクセルバーを押したり引いたりしてアクセルシステムの動作を確認する。



アクセルロープが短すぎているか慎重に確認してください。大変危険です。アクセルを作動していないときにアクセルロープにテンションがかかってはなりません。

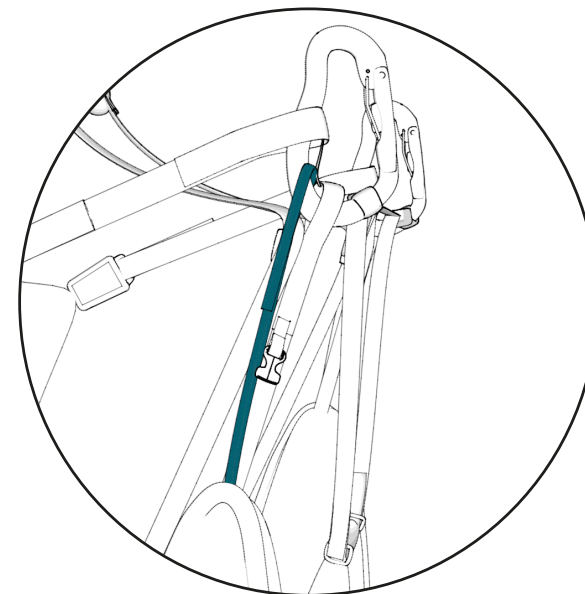
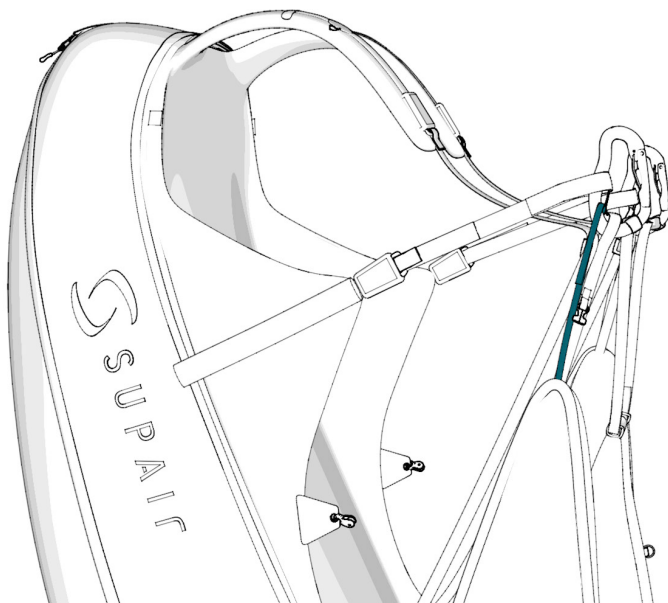
リバーシブルエアバッグモジュール

- 1 黒いファスナーを使用して脱着可能なモジュールをハーネスに取り付けます。ファスナーが完全に閉められていることを確認してください。

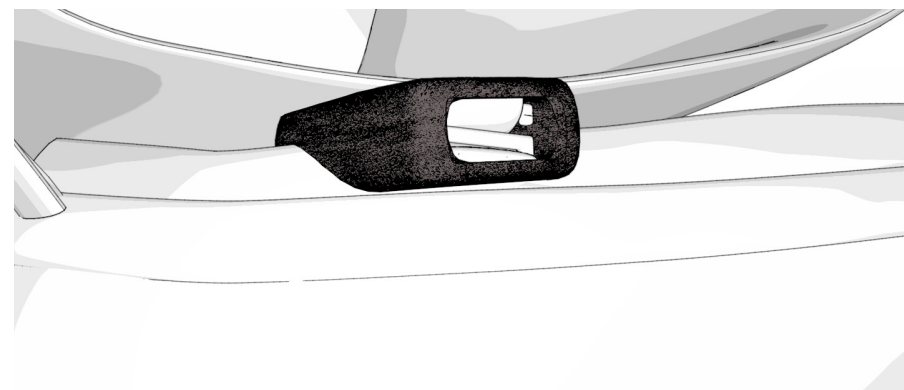
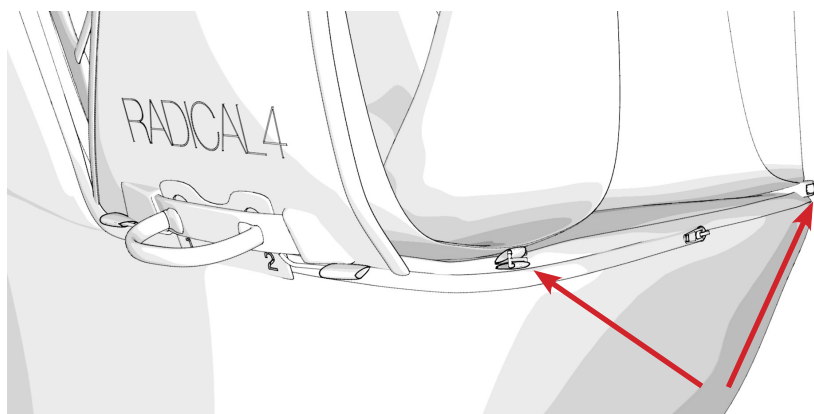


リバーシブルエアバッグモジュール

- 2 モジュールのサイドフラップのテープをリクライニング角度調節ベルトとメインベルトの間になるようにカラビナに取り付けます (左右両サイド)。



- 3 エアバッグのフロント部分を2つのアルミ製フックで取り付け、保護スリーブでバックルをカバーします。

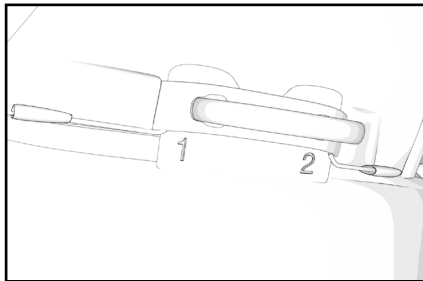


レスキューのセットアップ



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。レスキューパラシュートのパッキングはそのレスキューパラシュートの製造メーカーの指針に従い、ハーネスへのセットアップは本取扱い説明書に従って行って下さい。それ以外の方法に起因する事象に対しての責任は負いかねます。
レスキューパラシュートの大きさはパッキング方法により異なります。
我々はスップエアーのパラシュートでコンテナサイズを確認しています。他のパラシュートも対応すると考えられますがシステム全体が正しく機能するかの確認はご自身で行って下さい。

レスキューコンテナの特徴



- コンテナはファスナーで閉められケーブルでロックされるシステム
- 容量は2.9Lから4.74L
- スップエアーのシャインおよびフルードライトに適合するほか他のソコ用レスキューにも適合します
- ラディカル4専用のトグルー体型のインナーコンテナ

ラディカル4Sサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
フルードライト	✓	✓	✓

ラディカル4Mサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
フルードライト	✓	✓	✓

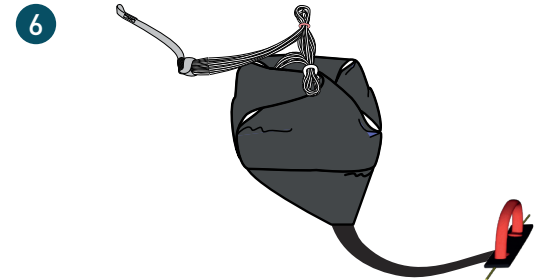
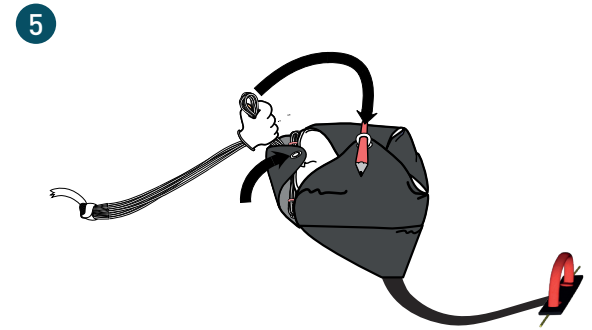
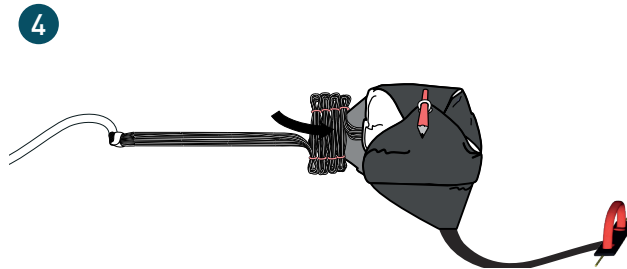
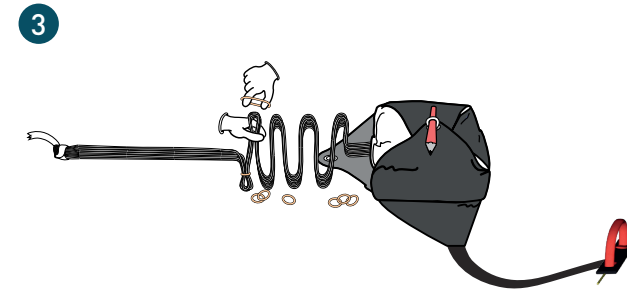
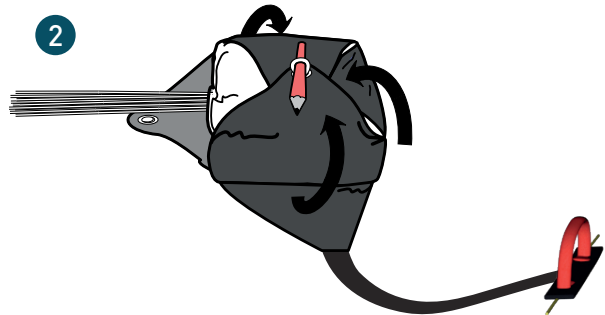
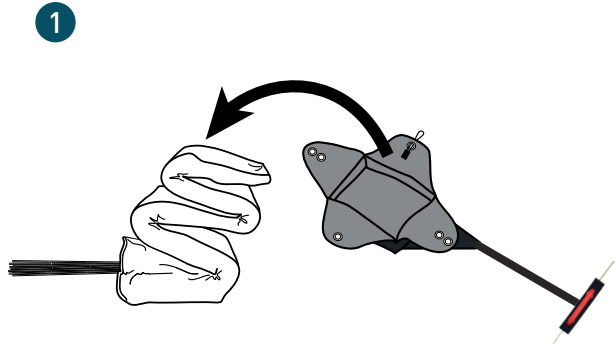
ラディカル4Lサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
フルードライト	✓	✓	✓



レスキューパラシュートは専用のインナーコンテナを使用してエアバッグモジュールに組み込まれているコンテナに収納する事が出来ます。エアバッグモジュールを使用しない場合はオプションのフロントコンテナに収納する事が出来ます。

レスキューのセットアップ

レスキューをインナーコンテナに収納する



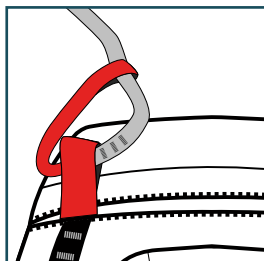
ハーネスにブライダルを接続する

>> レスキューブライダル接続ポイントへのアクセス

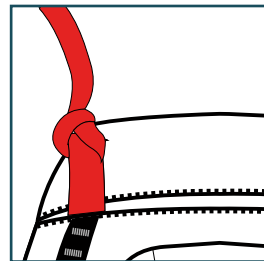
レスキューブライダル接続ポイントへアクセスできるようにまず初めに、ブライダルガイドスリーブのファスナーを上部肩口からレスキューコンテナに向かって開放します。

A ヒバリ結びで接続する

① それぞれのブライダルをヒバリ結びでブライダル接続ループへ接続します。ブライダルの大きい方のループを使用してください。



② 全てが正しく接続されブライダルがずれないように確認します。もう一方のブライダルも同様に接続します。



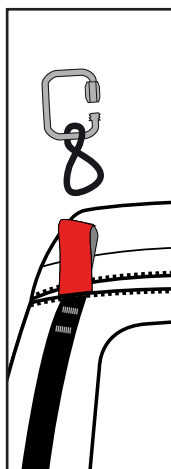
③ ヒバリ結びを締め上げます。

B 6mmのラピッドリンク®2個を使用して接続する

2個の角型6mmラピッドリンク®と2個のOリングを用意します。

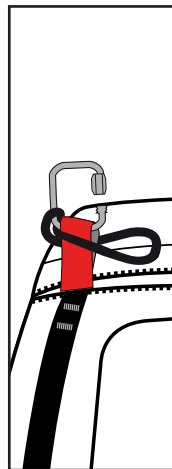
① ラピッドリンク®を開放します。

- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。



② 1回ひねったOリングにブライダル接続ループを通します。

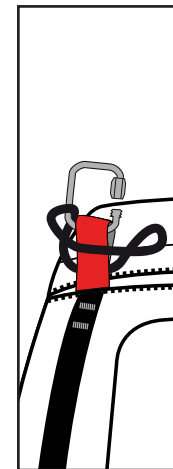
- ラピッドリンク®をブライダル接続ループに通します。



③ Oリングを1回さらにひねります。

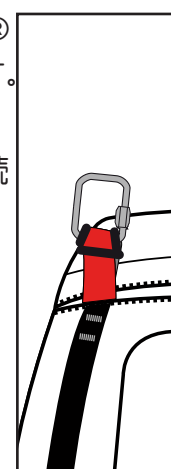
- ひねったOリングをラピッドリンク®に通します。

- ブライダル接続ループがずれないことを確認します。



④ 一旦ラピッドリンク®を手で閉めておきます。

- 反対側も同様に接続します。



レスキューのセットアップ

ハーネスにブライダルを接続する

6mmのラピッドリンク®2個を使用して接続する(続き)

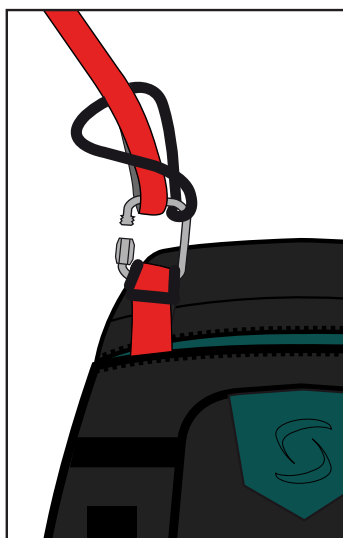
1



- ラピッドリンク®を開放します。

- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。

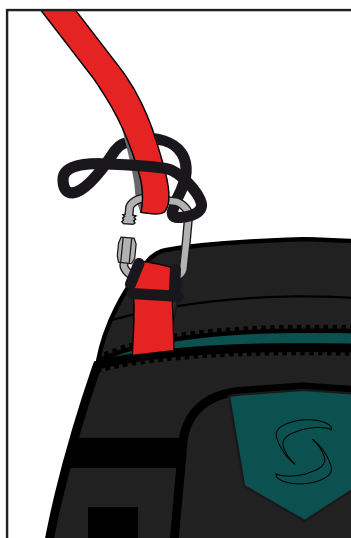
2



- 片一方のブライダルを1回ひねったOリングに通します。

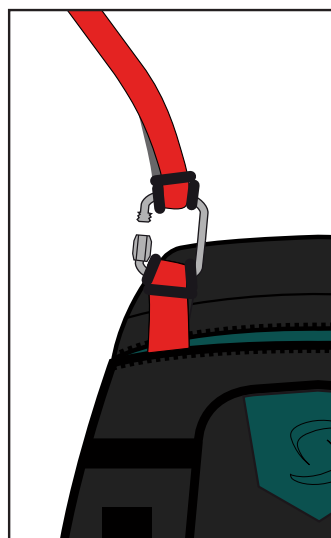
- ブライダルをラピッドリンク®に通します。

3



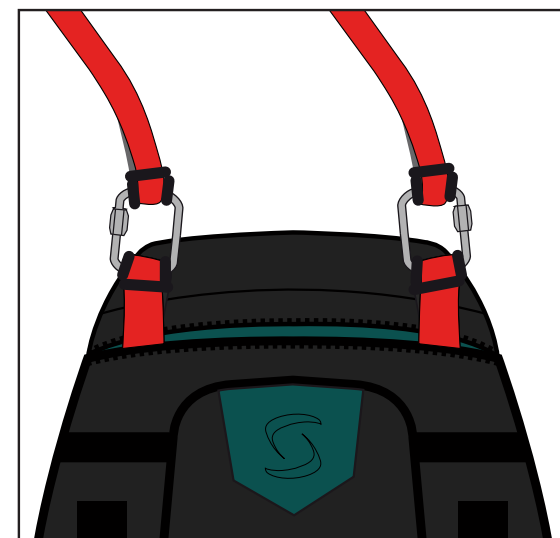
- Oリングをさらに1回ひねります。

4



- ひねったOリングをラピッドリンク®に通します。

5



- ブライダルが容易にずれないか確認します。

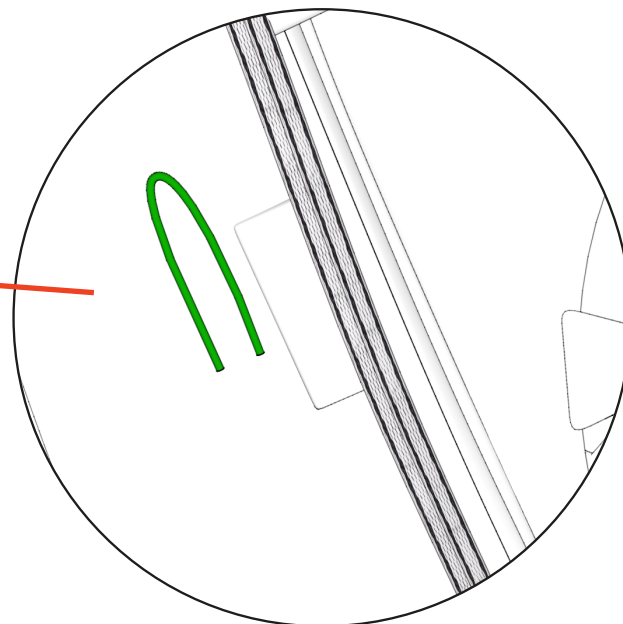
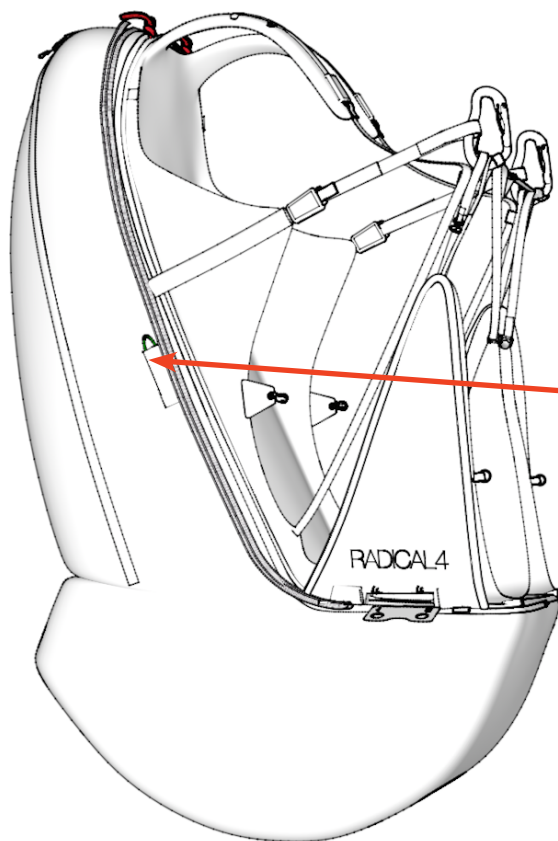
- ラピッドリンク®を一旦手で閉めます。

- その後、プライヤーを使ってさらに4分の1回転締め上げます。

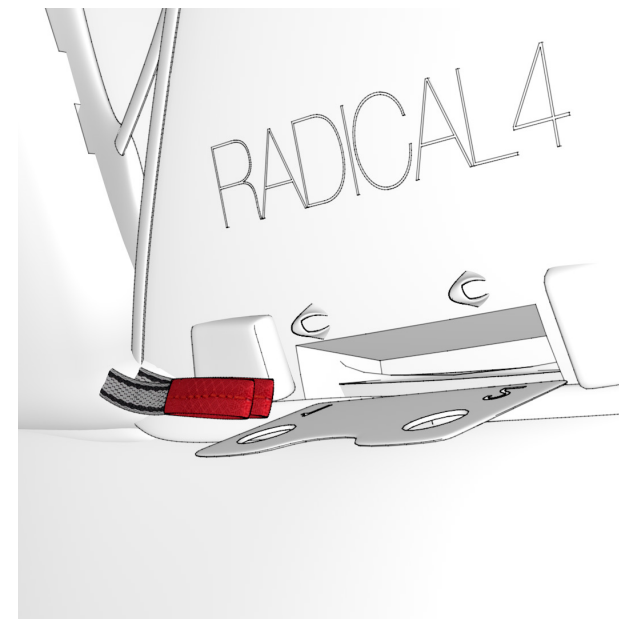
- 反対側も同様に接続します。

レスキューのセットアップ

ブライダルをガイドスリーブに収納する



レスキューコンテナパッキング用ガイドロッド

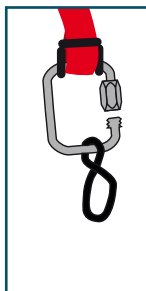


- 1 - 左右2本のブライダルのフリーエンド側が同じ長さになるように、ハーネスのサイドに設けられているガイドスリーブ内にブライダルを収納します。
- 2 - ブライダルのフリーエンドがレスキューコンテナにやっとなどく程度に引き出しておきます。

ブライダルとレスキューの接続

角型7mmラピッドリンク1個とOリング2個を用意します。

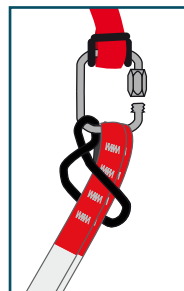
1



- まず初めにレスキュー側のブライダルをOリングを使用してずれないようにラピッドリンク®に接続します。

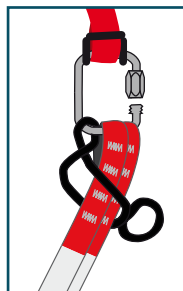
- Oリングをラピッドリンクに通し1回ひねります。

2



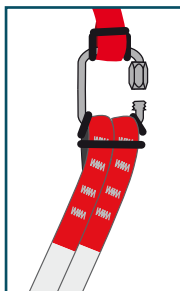
- ハーネス側の2本のブライダルをOリングに通してからラピッドリンク®に接続します。

3

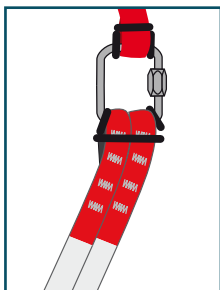


- Oリングをさらに1回ひねってからラピッドリンク®に通します。

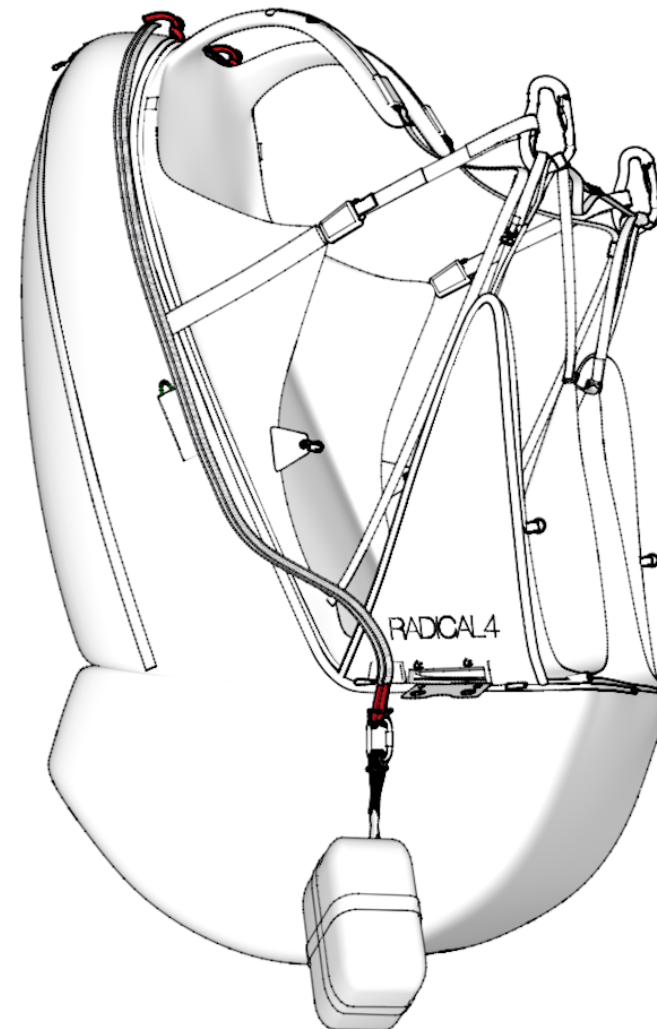
4



5



- ブライダルの接続がきれいに出来上がっているか確認します。
- ブライダルが容易にずれないことを確認します。
- ラピッドリンク®を一旦手で閉めます。
- プライヤーを使用してさらに4分の1回転増し閉めます。



レスキューのセットアップ

レスキューをエアバッグモジュールに組み込まれたコンテナに収納する



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキューのパッキングおよびハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。そうしない場合に対する責任は負いかねます。

1



パッキングされたレスキューをコンテナに挿入します。サスペンションラインが下側に来るようにしてください。

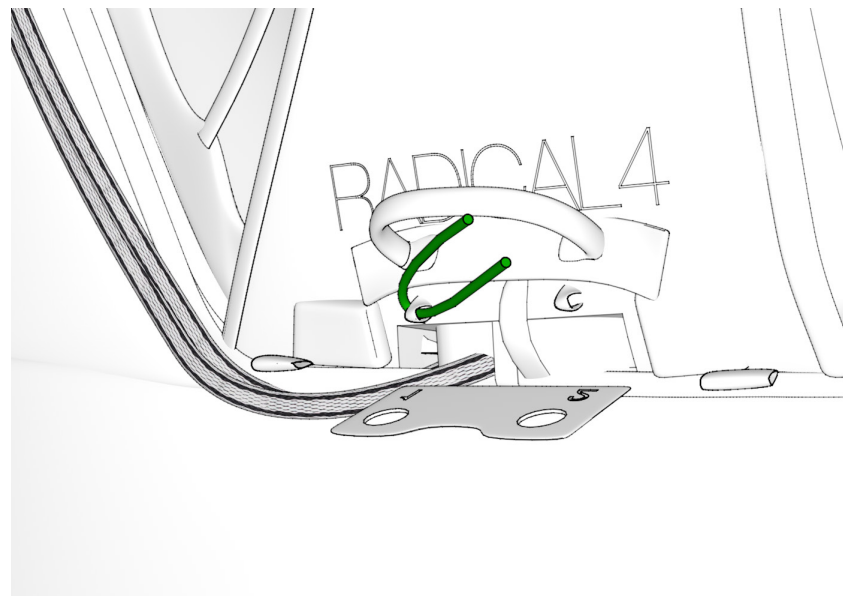
レスキューのセットアップ

レスキューをエアバッグモジュールに組み込まれたコンテナに収納する



2

ガイドスリーブおよびコンテナのファスナーを開きます。

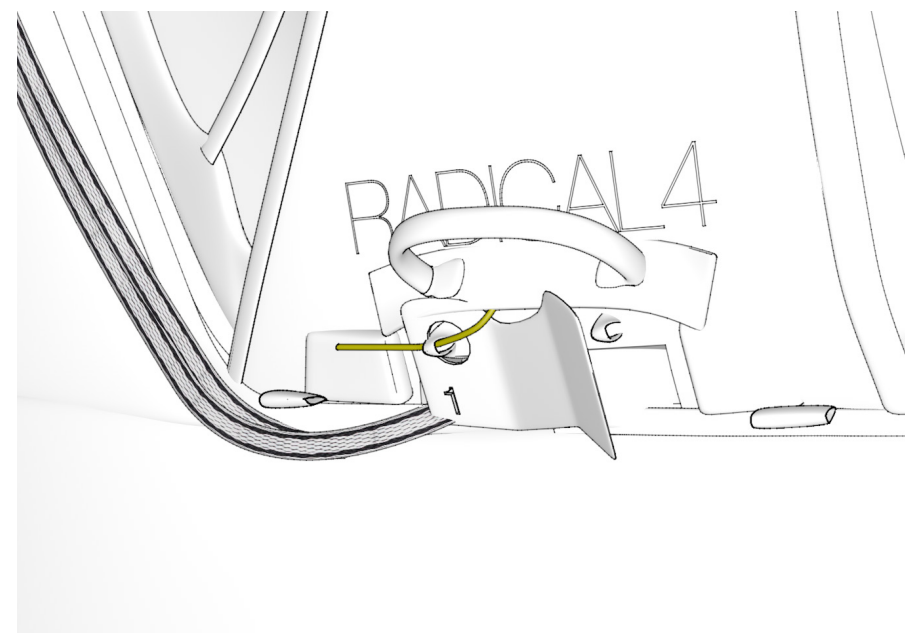


3

パッキングガイドロッドを閉じループ(1)に通します。

レスキューのセットアップ

レスキューをエアバッグモジュールに組み込まれたコンテナに収納する



4

パッキングガイドロッドを使用して閉じループ(1)をハトメ(1)に通します。

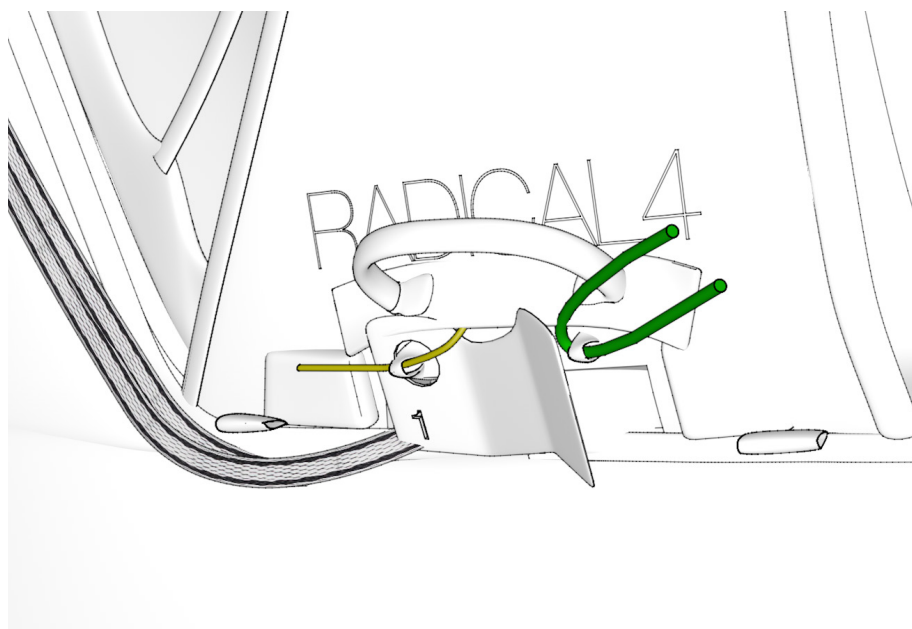
5

- トグルについているケーブルを閉じループ(1)に通してロックします。

- パッキングガイドロッドを抜き取ります。

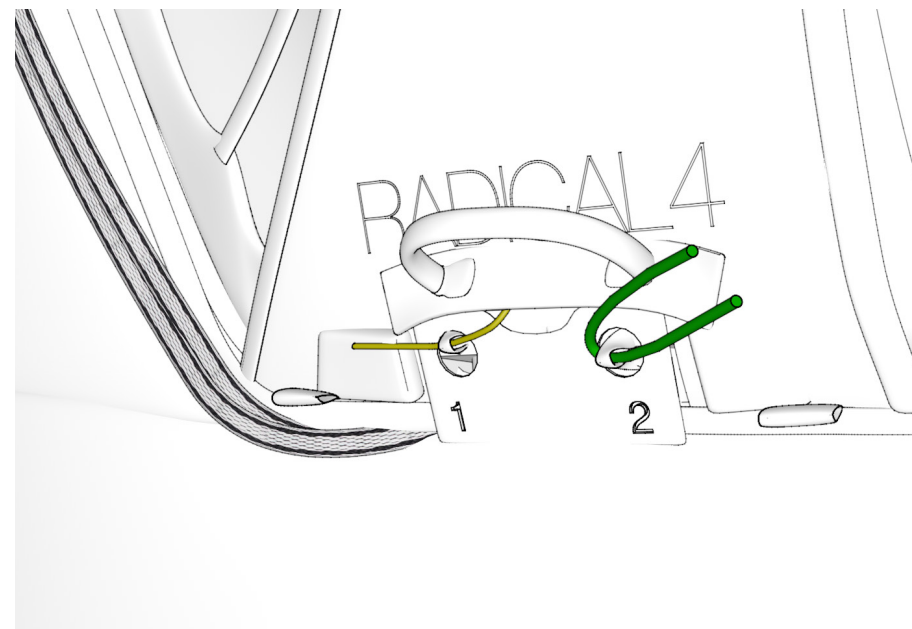
レスキューのセットアップ

レスキューをエアバッグモジュールに組み込まれたコンテナに収納する



6

パッキングガイドロッドを閉じループ(2)に通します。

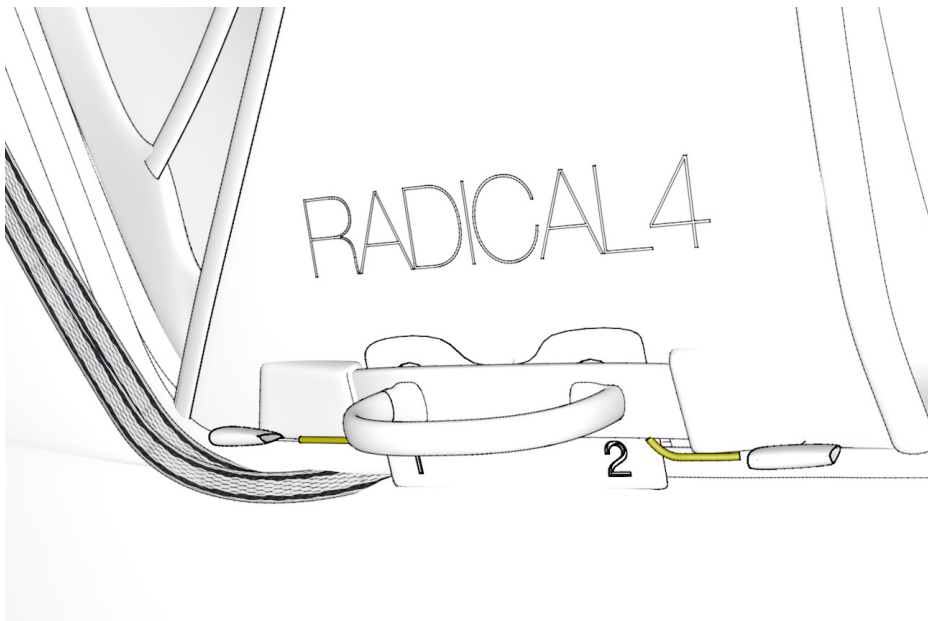


7

パッキングガイドロッドを使用して閉じループ(2)をハトメ(2)に通します。

レスキューのセットアップ

レスキューをエアバッグモジュールに組み込まれたコンテナに収納する



8

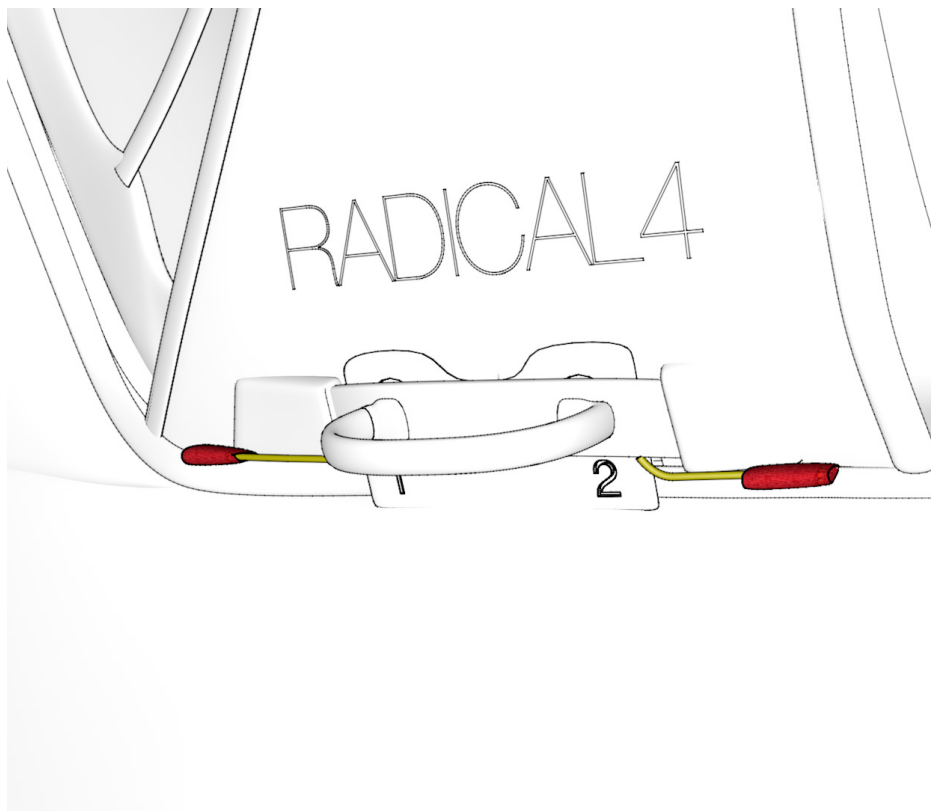
- トグルについているもう1本のケーブルを閉じループ(2)に通してロックします。
- パッキングガイドロッドを抜き取ります。

9

ガイドスリーブとコンテナのファスナーのスライダーがファスナーの終端にあることを確認してから、両方のファスナーを閉めます

レスキューのセットアップ

トグルを固定する



11

トグルの両端をスリットに差し込みます。

レスキューの引き出し確認は必須です



レスキューのセットアップが完了したらシミュレーターにぶら下がり、必ず引き出しテストを実施してください

セットアップが完了したら専門家に正しくセットアップされたか確認してもらってください。

パッキングされたパラシュートの大きさはパラシュートにより異なることがあります。レスキューの引き出しテストにおいてシステムが正しく機能しているかの確認をすることが重要です。6か月ごとに引き出しテストを実施してシステムが正常に機能していることを確認してください。

注意:引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。

レスキューのセットアップ

フロントレスキューのセットアップ

エアバッグモジュールを装備していないラディカル4ハーネスでは、フロントレスキューコンテナを装着することが可能です。

装着方法:

- レスキュートグルをインナーコンテナに取り付ける
- レスキューをフロントコンテナに収納する
- フロントコンテナをハーネスに取り付ける

装着方法はフロントコンテナの製造者による取扱説明書に厳密に従ってください。



ブライダルの道筋

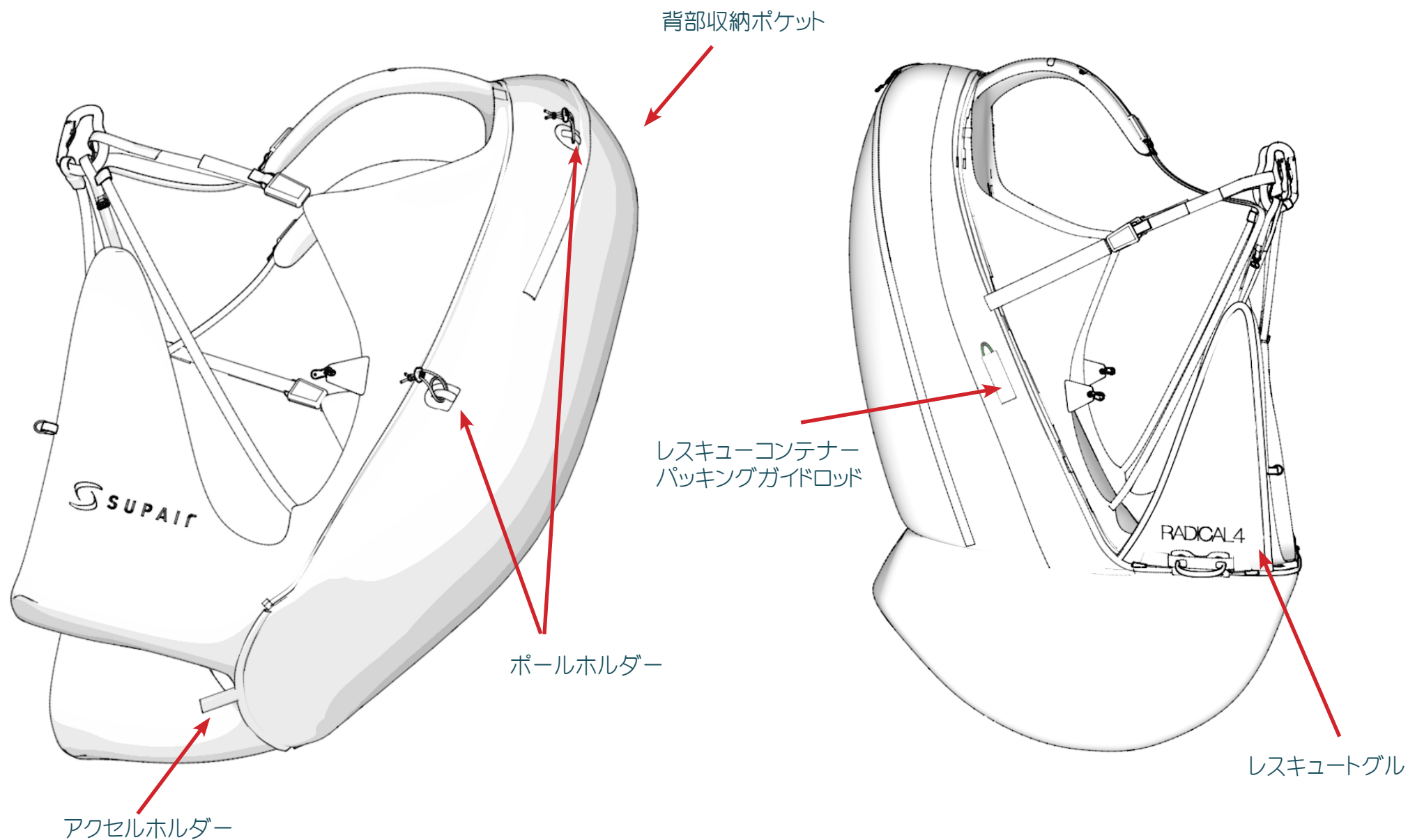


重要:

フロントコンテナを使用する場合、レスキューの開傘を妨害しないようにレスキューブライダルがアクセルロープおよびハーネスの外側を通るように注意してください。



収納およびガジェット



収納およびガジェット

ピッケルホルダーとポールホルダー



トートタイプポケット

内部にキャメルバッグ用ポケットのある
ファスナー付きポケット

肩ベルトに
スップエアーflasco用ポケット



肩ベルトに
ファスナー付きポケットと
フラップ付きポケット

脱着可能ベルト

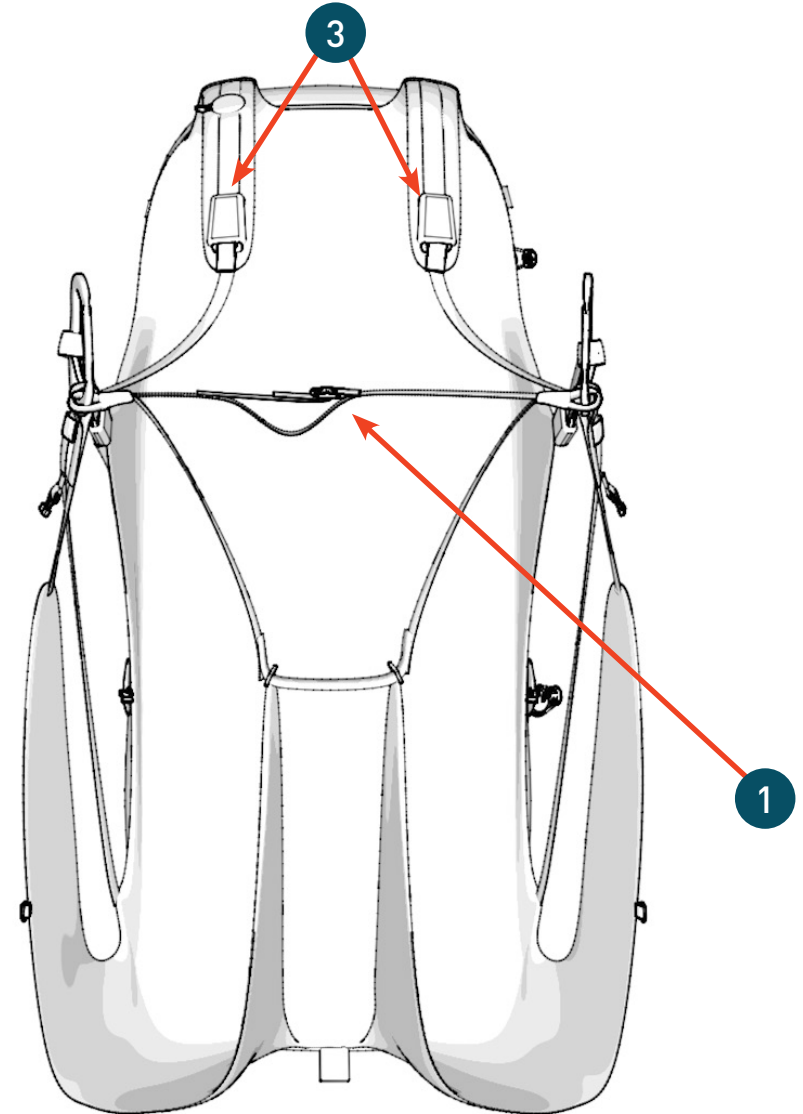
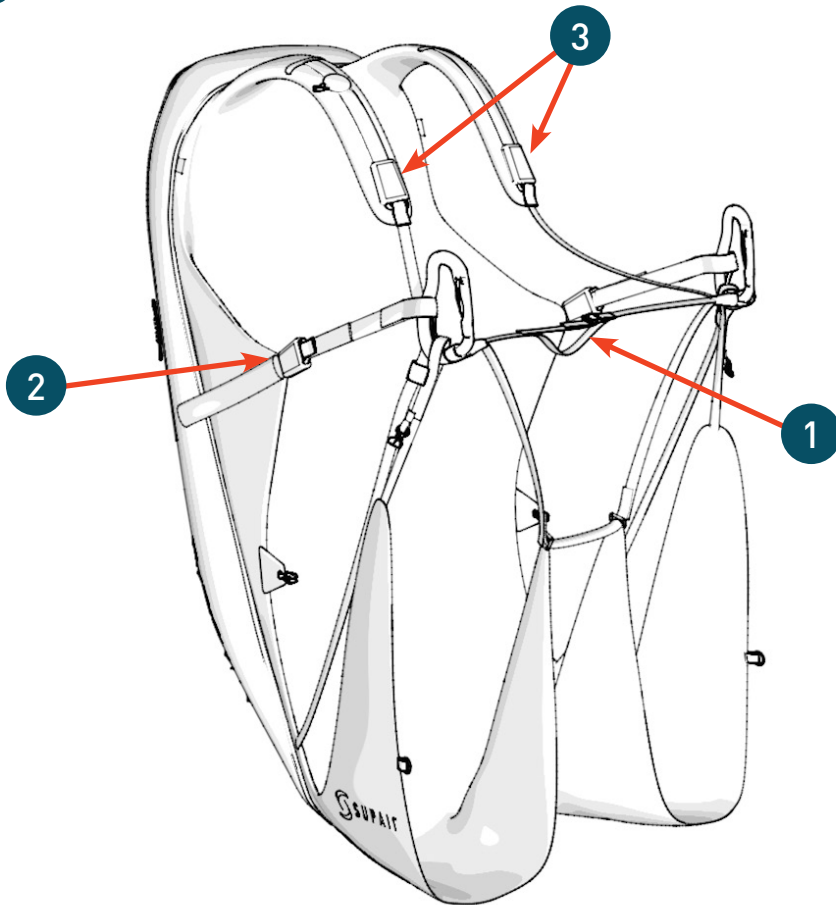
ハーネスの調節



重要:初めてフライトする前にシミュレーターにぶら下がってハーネスの調節ことを推奨します。

調節項目

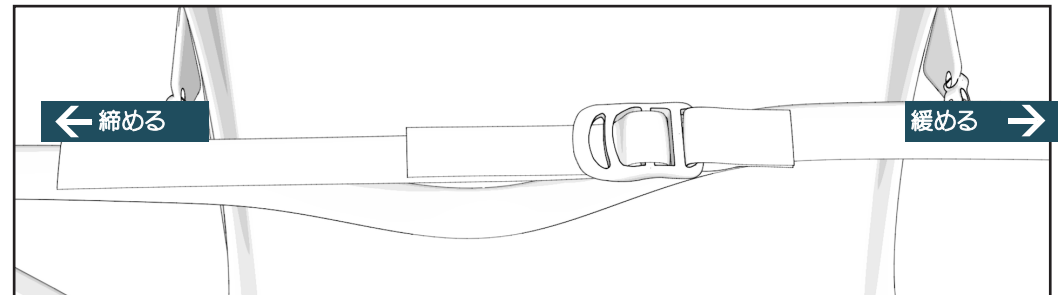
- ① チェストベルトの長さ調節
- ② リクライニング角度調節
- ③ 肩ベルトの長さ調節



ハーネスの調節

リクライニング角度の調節

- テープを締めると、より状態が起きた状態になります。
- テープを緩めるとよりリクライニングした姿勢になります。



チェストベルトの調節:



考慮すべき長さは左右のカラビナの底部センター間の長さです。
適切な長さはパラグライダーのモデルによって違います。
パラグライダーメーカーの推奨する長さに合わせてください。

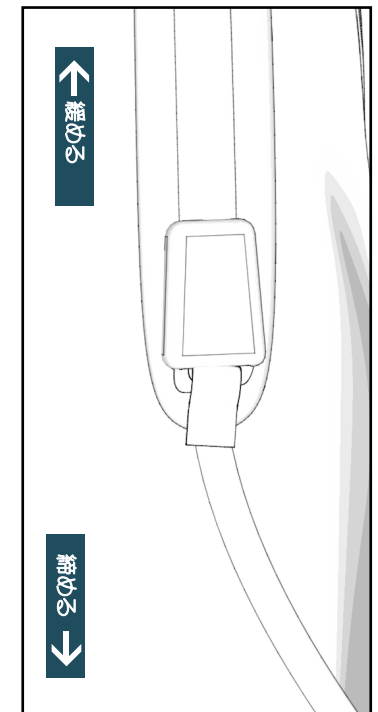
チェストベルトを締めると安定性は増しますが体重移動の効果は減少し、ライザーがツイストするリスクが増大します。

反対にチェストベルトを緩めると体重移動の効果は増大しますが、大気が不安定な場合はリスクが増します(グライダーが潰れた場合に潰れた側に体重が大きく傾く傾向になります)。

トリマーを使用して肩ベルトの長さの調節:



肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要で、長すぎても短すぎてもいけません。きつくならず、かつ上体を心地よくサポートするように調節してください。



グライダーとハーネスの接続

ハーネスにグライダーを接続する

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

ライザーの向きが正しいか確認します:Aライザーがフライト方向の前側に来る様に(右図参照)。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。

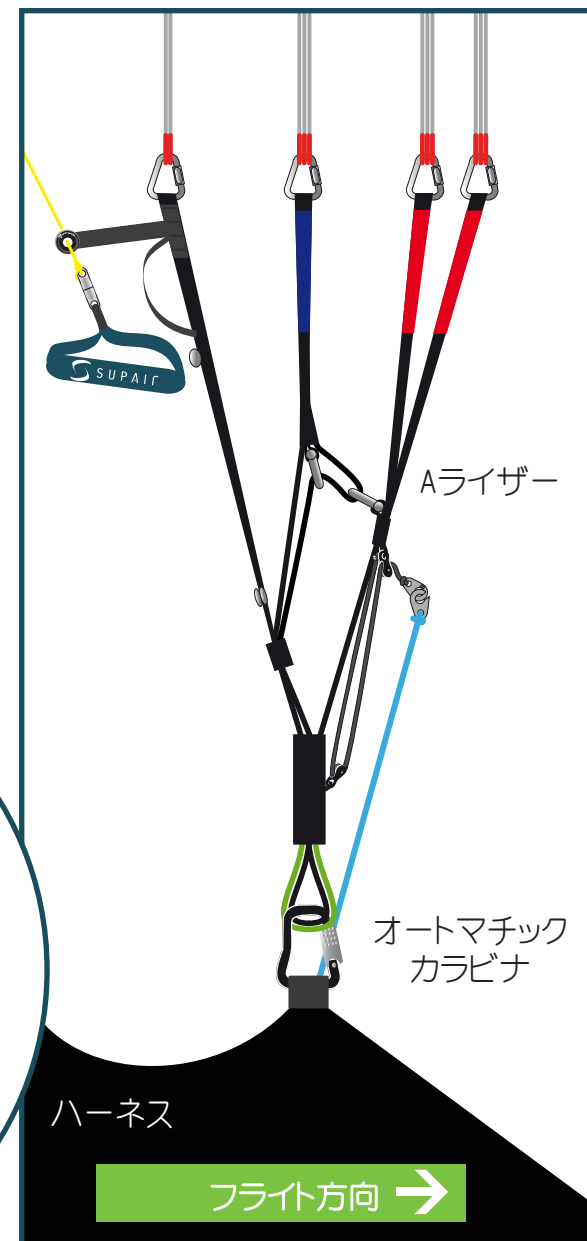
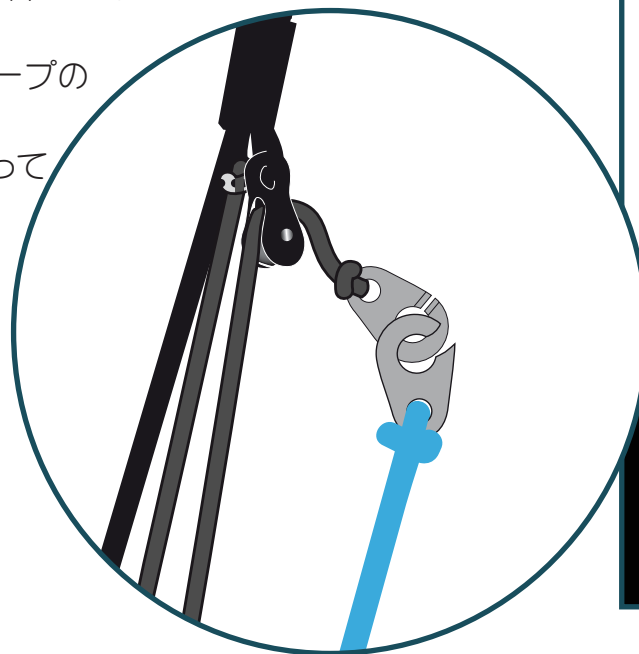
アクセルの接続

アクセルを12ページの説明にしたがってセットアップします。

アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。

アクセルが接続されたら、パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。

アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。





フライト中の拳動

空中において、このハーネスによる操縦は繊細かつ正確で大変扱いやすく、立ち上げ時や地面近くでの飛行も楽しいものです。

情報の伝達はレッグベルトによりなされ、シートボードとは異なり、左右の動きは独立的に伝達されます。

このハーネスは山岳フライトには理想的ですが、通常のフライトエリアでのフライトにはエアバッグモジュールを装着し、レスキューパラシュートを装備してフライトすることを推奨します。

初めてこのハーネスでフライトする際は、風が弱く大気の安定した状況下で慣れ親しんだエリアにおいてフライトすることを推奨します。

プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック
- レスキューグルのケーブルが確実に、閉じループを通過してコンテナが正しく閉められているかチェック
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック
- レスキューグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック

テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着します。

テイクオフ直後は立ち姿勢を保ち、斜面から十分離れてからハーネスに腰を入れ座ります。



斜面近くでは決してブレークグルから手を離さないように。



空中



空中においてラディカル4の挙動は直感的で安定しています。
カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。
アクセルの使用は、乱気流に対して、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります。アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、シートからおしりを前方に出し、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。
ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。
ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するとき目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。
強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。
着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために、意識しないでもトグルを掴めるようになるよう定期的にレスキュートグルを掴む動作を繰り返すことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にすることが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。

レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。



力強くレスキュートグルをサイド方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体(インナーコンテナとトグル)を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー(CまたはD)あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます(万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことができます)。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。

リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。

トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検項目

6か月ごとの点検:



- レスキューパラシュートの引き出し検査(トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか)。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検:



専門家によるレスキューパラシュートのリパック(パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合)。

クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。

ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境(ダート、砂など)で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します:中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。**油は塗らないこと!**

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。

特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

耐用年数

以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください。



- テープ類(摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
- バックルおよびカラビナの状態(摩耗、クラック、正しく機能しているか)



ラディカル4に使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的に検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです!



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外(登山やトーイングなど)には絶対に使用しないでください。

カラビナは5年あるいは500時間使用したら交換することを推奨します。

レスキューパラシュートは、メーカーの指示に従って定期的にリパックを行ってください。特に指示の無い場合は最低でも年に1回はリパックをしてください。

修理

このハーネスの製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スップエアーは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

交換部品

- エーデルリッド製ピュアスライダーカラビナ (商品コード: MAILMOUSPURESLIDER + MPPP094)
- レスキューインナー一体型トグル (商品コード: POIR4)
- アクセル用接続金具 (商品コード: MPPM050)

素材

生地

210D R/S 44 ROBIC
230T Triple R/S

テープ

ダイニーマテープ 12 mm
ナイロンテープ 15 mm

リサイクル

環境に優しい素材を慎重に選択することで、製造フットプリントを最小限に抑えています:ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

もしあなたのラディカル4が、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品のリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地元の機関にお問い合わせください。

保証

スップエアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スップエアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し5年間(購入後)保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。スップエアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用デザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

エアバッグプロテクションに関して

あなたが購入されたハーネスはエアバッグによる衝撃吸収システムを採用しています。

このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具 (PPE) に関するEU基準2016/425に準拠しており、SP-0022 12/2016プロトコルによる専門家により認証されています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました: ALIENOR CERTIFICATION n° 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Châtelleraut, FRANCE

エアバッグの保管、運搬および保守はハーネスと同様です。またプロテクションに対する検査もハーネスに対するものと同様です。



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分か和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



警告: 衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法はシステムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。

プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。従って、各フライトの前に次の確認を行ってください:

- 1 / エアバッグ/衝撃吸収プロテクションの正しい形状および膨らみ
- 2 / エアバッグの縫い目と生地の状態(穴、裂け目、引っ掛かり...)



CE認証規準によれば通常の使用状況下ではプロテクションの耐用年数は5年となっています。

従って5年を経過するとプロテクションのCE認証は無効となります。

警告! 激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。

ラベルの意味:

PPE要件に適合していることを示すマーク

Nom du produit / Name of the product :

Date de production / Date of production :

Taille / Size : Entretien / Maintenance :

エアバッグが損傷した場合は、資格のある専門家に検査を要請し修理を依頼するか、スップエアー (sav@supair.com) までご連絡ください。

テスト結果とEU適合証書は、www.supair.comで確認できます。

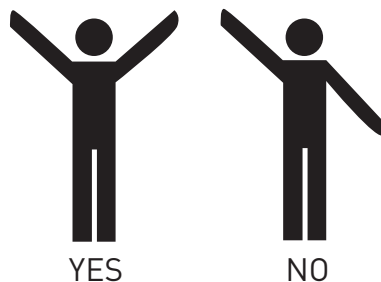
事故後の救助要請

緊急電話番号



EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助要請?



YES

NO

フラッシュライトによるSOS信号:



整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付	
購入者氏名:	
販売店名・印:	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
Date	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
Date	
修理センター名/購入者氏名	



SUPAIR-VLD
Parc Altaïs
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE

info@supair.com
+33(0)4 50 45 75 29

RCS 387956790

■ ■ DESIGNED
■ ■ IN ANNECY



輸入者 ファルホークインターナショナル株式会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email:info@falhawk.co.jp